

令和2年度神奈川県がん対策推進審議会の 会長及び副会長の選任について

1 会長の選任

委員8名から 渡辺 哲委員への推薦があり、それ以外の10名の委員からは同氏の選任について同意が得られたことから、渡辺 哲委員を会長に選任する。

2 副会長の選任

委員7名から 笹生 正人委員への推薦があり、それ以外の11名の委員からは同氏の選任について同意が得られたことから、笹生 正人委員を副会長に選任する。

令和2年度第1回神奈川県がん対策推進審議会（書面会議）結果

議 題

- 1 がん診療連携拠点病院の新規指定推薦について 資料3 参考資料1

承認する . . . 18人

承認しない . . . 0人

結果：昭和大学藤が丘病院を新規指定推薦することについて承認されました。

- 2 地域がん診療連携拠点病院（高度型）の新規指定推薦について 資料4

承認する . . . 18人

承認しない . . . 0人

結果：藤沢市民病院を高度型に新規指定推薦することについて承認されました。

<議題に関する委員からの意見>

議題 1 がん診療連携拠点病院の新規指定推薦について

○ 渡辺 哲委員

昭和大学藤が丘病院は、地域がん診療連携拠点病院の必須要件及び原則必須要件を全て満たしている。さらに、事務局案に記載されているように、隣接する各医療圏との診療連携協力体制の整備が期待されることから、新規指定推薦する。

○ 見本 真一委員

昭和大学藤が丘病院は、同じ横浜医療圏にてがん診療連携拠点病院に含まれる同大学北部病院とともに、私共の施設でのがん検診受診者に対する精密検査紹介病院として高く信頼できる医療機関と言えます。必須要件を満たしており、更なる連携が期待できると考え、推薦に異論ございません。

○ 松沢 千恵子

昭和大学藤が丘病院については、必須要件及び原則必須要件をすべて満たしているとのことですので、地域がん診療連携拠点病院の申請を承認いたします。

今後、がん診療においてがん患者さんを守り、地域の皆さんを支える病院として、発展してゆかれることを願います。

○ 馬上 祐子委員

リンクナースや放射線療法看護認定看護師は、患者と家族に直接する方々なので、できれば今後設置していただきたく思います。

がん教育は地域住民のがんに関する知識を高めるために重要であるので、ぜひ医療従事者等を派遣していただきたく思います。

議題 2 地域がん診療連携拠点病院（高度型）の新規指定推薦について

○ 渡辺 哲委員

藤沢市民病院は、地域がん診療連携拠点病院（高度型）の要件を満たしている。

さらに、湘南東部医療圏には他に指定を受けている病院がないので、高度型に推薦する。

○ 見本 真一委員

湘南東部地区にて高度型の地域がん診療連携拠点病院の指定条件を満たす唯一の医療機関であり、「望ましい条件」を 32/39 項目充足していることより、藤沢市民病院の推薦に賛同いたします。

○ 松沢 千恵子委員

湘南東部医療圏において、藤沢市民病院は高度型の指定要件をすべて満たしていることから、地域がん診療連携拠点病院（高度型）の新規指定推薦を承認いたします。

<議題以外に関する委員からの御意見>

○ 片山 佳代子委員

そろそrogan対策推進計画の中間評価に向けて準備が必要だと思います。

《事務局からの回答》

進行管理及び計画改定前の暫定評価を実施します。

○ 玉巻 弘光委員

ナショナルな問題であり、本県固有の問題ではないが、従前より指摘しているとおり、連携拠点病院という包括的制度が良いのか、癌の種別を斟酌し、それに特化した指定は必要なのか、制度論として検討が必要と考える。

現状では症例数の少ない癌の治療経験の集約による、治療成績向上が阻害されるのではないかと。

《事務局からの回答》

がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針について、厚生労働省において見直しを行って行く予定です。

○ 金森 平和委員

今後、神奈川県では拠点病院の総数を規定する考えはありますか。

同様に、高度型の病院数を規定する考えはありますか。

(施設数の制限がないのであれば、指定要件を満たしている施設については特に反対する理由はなく、審議する意味があるのか疑問に感じたため)

《事務局からの回答》

神奈川県におけるがん診療連携拠点病院の総数については、国も動向も注視しながら、今後、本審議会において御意見をいただく予定です。

また、高度型の病院数については、がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針上、がん医療圏に一カ所となっていますので、原則として指針に準拠していく予定です。

○ 松沢 千恵子委員

今回の審議会はコロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催とのことですが、他の委員の方のご意見も聞いて、審議する場が持たれることが必要と思います。

今後もし、対面での開催が難しい場合はオンラインでの審議会開催を望みます。

○ 天野 慎介委員

新型コロナウイルス感染症への対応に伴い、がん対策推進審議会も開催できていない。厚生労働省のがん関連審議会等も今年前半は開催を中止や延期などの対応を行っていたが、今年後半からは Web 開催などを通じて開催を再開していることから、神奈川県においても Web 開催を含め、何らかの方法で議論の場を設けるべきと考える。

《松沢委員及び天野委員からの御意見に対する事務局回答》

次回の審議会は、対面又はオンラインでの開催を考えています。